

Vivienne's diary 2015 年 10 月/11 月

10 月

現在に至るまでの日記を書いて、11 月 29 日のデモ行進までは主な出来事を急いで書き上げていきますね。

10/17 (土) : フリーズ・アート・フェア。 このアートフェアのオープニングでトークすることを了承しました。私がいわゆるモダン・アートに、「がらくた」という言葉以外にどんな地位も与えないというのに何故。アンドレアスと私の秘書のベネディクトが 3 日連続で私のところに来て、返事をくれるようお願いに来ました。そうは言っても、彼は私の友人のグレゴールが私に頼んでいるのだとだけしか私に伝えていないのですが。グレゴールは、私が言う事は面白いと考える人なので私の意見など気にしないのです。彼はプレスに行かなければならないので、今私からの返事を必要としていました。結局ベネディクトが、グレゴールは 1 ヶ月前に私にやってくれないかというメールを送っていたのだけど、それをなくしてしまったと言ってきたので、やることにしました。だってグレゴールをがっかりさせるわけにはいきませんから。

また、熱帯雨林を保護するための資金調達に売りたい絵（実際にはコラージュです）が私にはありました。アンドレアスと私はクール・アースという、熱帯雨林を守る活動を現地の住民としているチャリティー団体のパトロンです。彼らは既に 541,035 エーカーの熱帯雨林を保護しました。彼らは赤道直下の 3 つの偉大な熱帯雨林を守るためにあと 1 億ポンドを目標にしています。選挙の投票会場が自宅近所の学校だったのですが、その学校の壁にかかってあるコラージュを目にしました。6 歳の学級の子供達で作った、環境についての作品です。

私はアンディー・ウォーホールやジェフ・クーンズの作品なんかより、この子達の作品を自宅の壁に飾りたいなと思いました。これを売りたいわ、それはチャレンジです、アートとは何かということに対するチャレンジなのです。

それで私はトークをしました。「偉大なアートは時代を問わない」それはいつもオリジナルで、初めに作られた時のように今日でも生きているようだ。退廃し得ることはあるが、アートに進化はない（なぜならばそれは完璧だから）。アートが文化を与えてくれる。今日の私たちは、大衆のために、文化の代わりに消費している。もし私たちに文化があったならば、私たちには異なった物の価値、我々人間の奇妙な価値があったらろう、そうすれば気候変動は起きなかつたらろうと。

私が自分のことを気が狂っているように感じると話し始めた時、聴衆は深く関心を持ったようでしたが、ベネディクトがメールを忘れていなければ、

私はここにはいませんでしたし、ここには、子供達のコラージュで熱帯雨林を守るためにいました。「自分の気が狂っている感じがするの。私が意味する小さな事と、課題の大きさは関係がありません。誰かが私を連れ去りに来てくれるまで、床に横たわっています。」と私は言いました。それから聴衆が拍手をしてくれている時に、名案が浮かんで突然立ち上がりました。「このコラージュの価値が分かったわ！1億ポンドよ。この絵を買ったら熱帯雨林を救うことになるのよ。1億ポンドを要求します！」私は、ぐったりと腰を下ろしました。ローラがサインと写真撮影のため私を引っ張り上げてくれました。

10/23 (金) : クラパムの自宅から道路を渡ったところにある図書館に。今、そこはアートセンター、オムニバスになりました。この中の一人ジョージとのキャンペーンを皆さん覚えていますか。クラパムのコミュニティーを破壊しているランベス区のカウンシルの定例の政策と比べて、オムニバスは良いのです。彼らが行なった野外でのマクベスについてお話ししたのを覚えていますか。私は気候変動について話をし、地図が描かれたリーフレットを配布しました。その後の講演は素晴らしかったです。気候変動についてコメディアンやミュージシャンがパフォーマンスをし。オムニバス、よくやりました。



10/26 (月) : コンデュイット通りのショールームで、イングランドにショッピングツアーに来ている中国人の一行と会いました。彼らは裕福ですので、影響力がある人達だと思います。彼らは環境に関心があるようです。地図が描かれ、腐った金融システムについて説明した私のリーフレットを配りました。彼らは「ファッション・キャラクター」である残りのグループと、オークションと夕食を兼ねた賞の受賞式のため私を上海に招待してくれました。もちろん、私の望みは彼らがクール・アースのために資金を募る協力をしてくれるかもしれないということ、そして彼らの影響力を、グリーン経済を築

くのを利用することです。これには生死がかかっているのです。彼らと連絡を取り合っていくつもりです。

10/27 (火) : ビョークがロンドンに滞在しています。私たちに会いに来ました。彼女は自身の作品を収めたレコードが入った2つの箱をプレゼントに持って来てくれました。彼女は現アイスランド政府が、アイスランドを破滅させるのを止めるためにできることは何でもやっています。彼女の事が大好きよ。

10/30 (土) : (週中は時間がないのでここに入れ込みます)
デンマークの緑の党の議員ウッフエ・エルベックが私の家に来ました。彼はCOP21に参加するのでグリーン戦略を話し合いたかったのです。私たちのどちらもCOPに出席するのですが、同じ日にいることにはならないので、彼のそこでのイベント用にビデオメッセージを送るつもりです。

11/6 (金) : 葡萄畑を訪ねて。英国のシャンパン(私たちはそれをイギリスのスパークリングワインと呼ばなければなりません)。ナイティンバーがシャンパンの名前で住所の名前でもあります。

私たちがそこに行くことになっていたとは知りませんでした。昨日行くことを了承したと聞かされたのです。もし前もって招待を受けたと聞かされていたら、断っていたでしょうね。私には時間がないのです。

ローナ・タッカーが私たちと一緒に来ました。彼女は産まれたばかりの赤ちゃんを私に見せたがっていたのですが、私はいつも忙しすぎてそのチャンスがありませんでした。今、列車に乗って彼女の赤ちゃんローラ・ヴィヴィアンに会うことができました。そしてローナとレナード・ペルティエについて話をしました。私はリラックスして、同僚と仕事について話をすることもできました。

サウス・ダウンズにあるナイティンバーに着きました。ゴージャスな場所です。家は想像を絶するほど美しく、植物を植えて造園された大きな池、土手に囲まれた庭、木や小屋。

海から1、2マイルほど離れた所にある緩波状の葡萄畑は、曲がりくねった小道によって森から切り離されています。暖かい風が少しの雨を運び、秋の葉っぱが頭上の小枝をたたくような音の中を歩きました。

この土壌は葡萄に良く、何か自然な方法での排水と関わりがあるのです。

私たちはここでワインテースティングとランチをします。アンドレアスが2年前にイギリスのスパークリングワインを買い、ナイティンバーが私たちのイベントでワインのスポンサーとなるようアレンジをすることになりました。私は知りませんでした。ショーの後で誰もが1杯のイギリスのスパークリングワインを手にした写真。今では本当に感謝すべき機会となりました。デリケートで微細な感じですが。喜びの香りを止めることなしに飲むことは二度とないでしょう。この日は今を生きているようでした。忙しすぎるので、普段はしない何か。



11/9 (月) : 私の友人カイとジョンがニューヨークから来ました。彼らは私にインタビューをし、二人がする予定のオークションのアイテムを私に選んでほしいのだそうです。ジュリアンを含むいくつかの記憶に値する事柄。利益はウィキリークスへと行きます。

11/10 (火) : ヘレンとリチャードとまた同僚数人と、私たちの会社の構造を改良するためのミーティングです。これを定期的に行なっている事をただ皆さんに忘れないようお伝えしているだけです。もう二度とこのことについては述べないかもしれません。

11/11 (水) : 研修医のためのTシャツをデザインしました。その数日後、彼らを支援するためのインタビューも行いました。

https://www.youtube.com/watch?v=vtEus8uF_Ao



11/12 (木) : テディーとシャッド・テムズにある家に。夜はザイツ基金との集まり。私がケニアに行った時、ヨッヘン・ザイツのロング・ラン事業の一つであるセゲラ・リトリートとワイルド・ライフ・パークに滞在しました。そのアイデアは、いくつか分かれたそれぞれのプロジェクトが、持続可能になるまで野生の領域を生き返らせるというもので、資金源は豪華なツアーです。アンドレアスと私はパトロンなのですが、特にセゲラのウアソナイロ・プライマリー・スクールのパトロンです。部族の人達がそこに住み、今ではもっと持続可能な生活を送っています。例えば、タキギの代わりに太陽光を使い、もっと健康的に、例えば、雨水を使って庭を作るなど。私はウアソナイロ（私たちがそこにいた時は、そこはただ厚板で覆われているだけで）に新しい学校を作った引退したビジネスマンのアランと彼の妻に会いました。その学校は地球上で最もグリーンな学校として賞を獲得しました。

ヨッヘンは私に、南アフリカにある彼の現代アートの美術館に、オープンさせてはどうかと尋ねてきましたが、私にはそれはできません。2月のコレクションが近すぎますから。

11/16 (月) : ウィットニー近くの**キャメロンの家にタンク**を。私の息子のジョーと、「トーク・フラッキング」チームがオーガナイズしました。キャメロンの家はフラッキングから免除されているのですが、その周りの土地にはフラッキングさせることを許可しています。目的は毒蛇の庭に毒をまくことです。

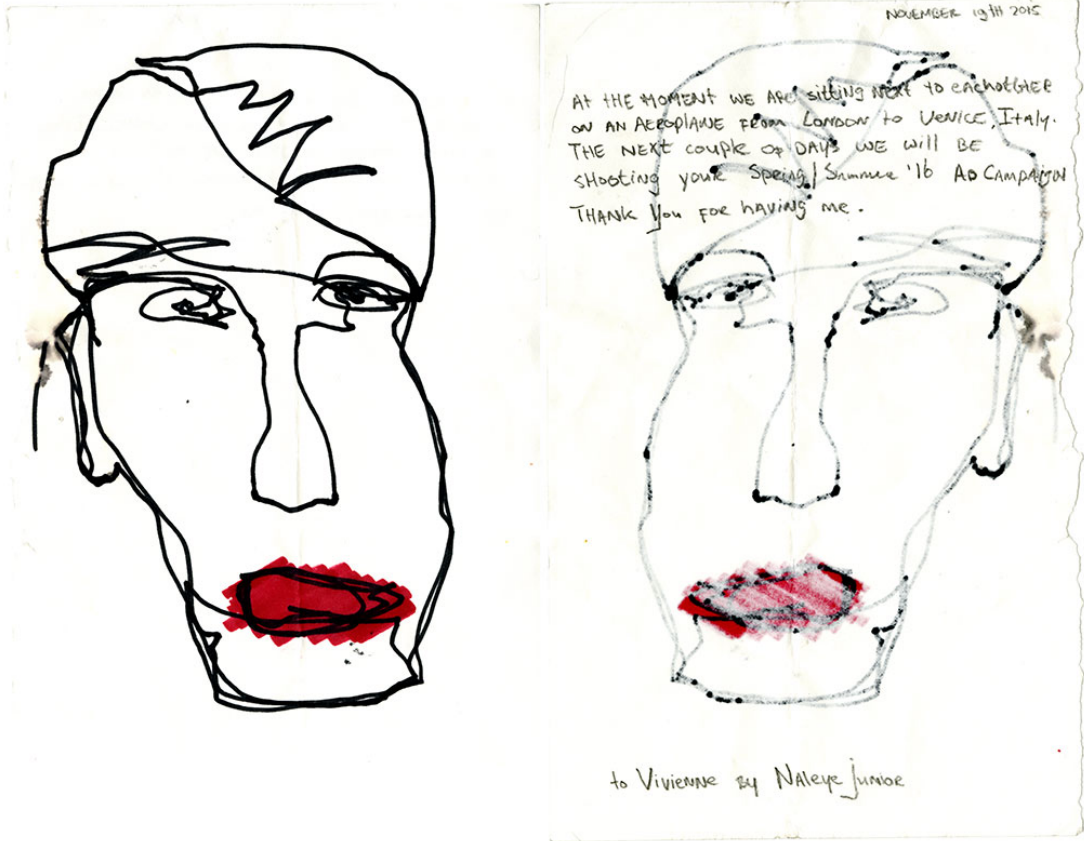
ナーナ（おばあちゃん）たちが私たちを待っていました。彼女達は自分の孫たちも連れてきました。フラッキングに反対に焦点を置いたグループで、とても重要な人達です。私は彼女達が影響を与えてくれたと強く思っています。彼女達のサポートはプレストン・カウンシルがフラッキングの計画を拒否する際にとっても役立ったに違いありません。そして私は、彼女達はフラッキングに対する世論に焦点を置く際に極めて決定的であったと思うのです。今ではフラッキングに 87%の人が反対しています。

タンクに乗った写真があらゆるところに出回り、ラッキーでした。中国にできえその写真は出回ったのですから。

息子のベンも私たちに参加したので、彼とトモカ、犬のジャッキーと一緒に車で帰りました。とても魅力的なウィットニーで途中休憩しました。ベジタリアンであることは、旅先でちゃんとした食べ物を探すことができないこともあり、利益を得るためだけに製造された最低の食べ物だけしか手に入らない時もあります。チーズとネバネバした白いパンだけしかなかったので、フィッシュ&チップスを食べました。何も食べる物がない時、私は時々魚を食べます。お寿司も大好きですし。

11/17 (火) : 大使館でジュリアンに会う約束がありましたが、私の代わりにシンシアとテディーを行かせました。私たちは世界事情について彼と話をしているのですが、ファッションの撮影があり、アンドレアスの準備を手伝わなければならなかったので行けませんでした。ジュリアンに対してとても失礼ではないかという感じがしましたが、私たちは真の友達ですので、もちろん彼は気にもせず、私に愛を送ってくれました。ジュリアンは決して重くはならないのです。彼はいつもとてもポジティブでゆったりしています。制服警官が取り除かれた彼の今の状況を[アップデート](#)しました。

11/19 (木) : キャンペーンのためベニスへ。ユルゲンとそこで会う予定です。ガトウィック空港に早く着いたので、モデルが一人ずつやってきた時はコーヒーを飲んでいました。どのモデルもかわいらしく、小さくて、若かったです。私はナレヤに彼の名前について尋ねました。彼のお父さんはアフリカ系アジア人で彼のお母さんはオランダ人です。彼がニューヨークを離れた時、CNN ニュースではパリの自爆テロの悲痛でいっぱいだった、しかしその自爆テロをしかけた男達は、アメリカやイギリスやフランスに訓練されて ISIS になったのだとは明らかに報道されなかったと教えてくれました。彼はとてもフレンドリーで、飛行機が離陸した時、彼の本のこのページを破って私にくれました。



ヴィヴィアン、サビナ、ナレヤ

あなたの名前はなんていうの？私は長くしっかりした腰まである髪の子に尋ねました。イーア！彼女は何においても活発でした。強い声を持ってとてもかわいらしく、直接的な観察力と質問をするのです。

アメリカ、思いやりがあって献身的で、ドミニカ共和国出身です。彼女はヨーロッパ来たがっていたのでした。彼女の国では、夜出歩くのは危険で、肌の明るさによって人種差別があり、人々は収入の手段もなく排除されているそうです。ハイチ生まれのハイチ人達は、今では国籍がなく、行くあてもないそうです。

リバプール出身のナディア・アルティンバスが大きなスーツケースを抱えてヘアとメイクアップをするため私たち一行に加わりました。モデル達はとても若くかわいらしいので、メイクが増えることはありません。ナレヤにはものもらいがかけていましたが、問題ではありませんでした。それなので私たちがショーをする時は、テーマを決めてモデルの顔、または仕掛けにペイントをするのです。私のお気に入りはまだにアンドレアスが**モデル達を馬みたいに見せよう**、と言った時のものです。

<http://climaterevolution.co.uk/wp/2011/03/15/creating-world-wide-woman/>

ナディアは特に何もすることがありませんでしたが、ちょっとだけパウダーをはたいていました。（私はイーアの顔で彼女と何か試してみて、とても良かったのです。だけどいや、何もない方がやっぱりいいわね。）

モデルの誰もが一度もベニスに行ったことはありませんでした。彼らは水上タクシーに乗って興奮していました。一緒にランチをとりました。その夜、私たちのチームは、スーパースタイリストで重要なサビナを含み、撮影のための衣装をまとめ、モデル達に着せてみました。

ゴールド・レーベル2016年春夏プレスリリース

本日 Vivienne Westwood Gold Label は 'Mirror the World' と題したショーを発表します。これはベニス救済を訴えるものです。そこにある問題は街の修繕だけではなく、気候変動による被害です。

12世紀、見事な高床式住居がベニスの運河沿いに並んでいました。これらひとつひとつは裕福な家庭が所有する交易所であり、1階部分は店になっていました。東洋の様々な贅沢品がここに集まったため、多くの商人や富豪たちが買い付けに訪れました。これら一族たちの繁栄ぶりはこの世のものとは思えないほどで、内も外も金で塗りたてた豪華な大邸宅や宮殿をいくつも建設しました。

ベリーニ、ジョルジョーネ、ティツィアーノ - 西洋の歴史において最も芸術が栄華を極めた時代。ベニスは文化の中心でした。

カーニバル - サンマルコ広場では誰もが仮装に興じ、もしくは角を曲がり細い路地に消える。マスクは身分の低い者を金持ちに、またはその逆に、また

は醜い者を魅力的にと、それぞれの立場を隠し変装させます。これは春を迎える前に自らの罪が許されるようにと、人々が過度な享楽を謳歌していた遙か昔から続いています。

私たちは11月29日にロンドンで大規模なマーチを開催します。(The People's March for Climate, Justice and Jobs www.vivienneewestwood.com/blog/peoples-march) 子供や友人を募って参加して下さい。参加者が多ければ多いほど世界を変えるチャンスに繋がります。この世界を反映する事、つまりこの世界のように美しくある事です。人々は世界と関わるべきなのです。



翌日、水上タクシーと平底の船を借り帆走する計画でした。ユルゲンはこういった観光客が撮るような写真が好きではありません。それでラッキーなことに、ジェーン・ダ・モストの招待を受けて、彼女のパラッツォで撮影をすることにしました。

夜までに、4人目のモデルであるコルビーが到着しました（翌朝アメリカに帰ります）。彼はポルノスターです。アンドレアスが彼の写真を私に見せ、私の意見を求めてきた時、私はすぐに、彼がどうしてポルノスターなのか分かりました。彼はとてもかわいらしく、性格の良い人柄に見えるのですから。それでこのような結果になったのです。彼は鋭い観察力で、私よりベニスのことを知っていました。彼は私たちが環境問題について戦っていることも知っています。ユルゲンは生け簀のある小さな店に私たちを連れて行きました。小さな魚が角質を食べてくれ、足を滑らかにしてくれました。

誰かがティッシュペーパーに包まれた帽子が入った段ボール箱を捨ててしまいました。ゴミだと思ったようです。それは撮影の後のことだったので。写真を見るまで待たなければならないでしょう。

コンテッサ・ジェーン・ダ・モストはとても重要です。彼女は科学者で、ベニスを守るキャンペーンをしています。1966年に酷い洪水が起き、それ以来、人々は問題を分析し、解決策を提案してきました。ラグーンは世界でも最も素晴らしい湿地です。動物と植物のこの上なく美しい共存、それは川の新鮮な水と沈殿物を安定化させてくれます。ベニス自身がこのラグーンと共に成長してきたのです。もしベニスがそこになかったら、海が沈殿物を洗いさってしまって湿地は土地か入り江になっていたでしょう。

今抱える最も大きな問題は、クルーズ用の船がラグーンを裂いてしまうことのように。完全に間違った経済がそうさせてしまうのです。ジェーンは、ベニスは炭坑のカナリアだと言います。もし私たちがベニスを守れなかったら、どのように世界を守ることができますか。



11/22 (火) : シャードでパーティー。私たちはクール・アースの活動に気付けてもらうためクリスマスツリーのデコレーションをデザインしました。ダンスフロアがないパーティーの音楽って、どうしてブーンブーンというリズムの音楽になるのかしら。話をするができないのよ。私は話したいのに。むしろコンスタントに続く写真の方がいいわね。

シャードをプロデュースし、資金を融通したアーヴィン・セラーが私の所に現れました。彼は今シャードよりちょっと高めの別のビルを建設中だそうです。私たちが一緒にいる写真を撮られました。彼は自身の貫禄にとっても満たされているようでした。私は「日曜日にある気候変動のデモ行進にあなた

は来るのかしら。」と尋ねました。彼は鼻であしらって「僕にはもっと大事なすべきことがあるのですよ。」と言いました。私は「例えば何？死ぬとか？」と言いました。

11/29（日）：デモ行進。 暴風の日、7万人の人々。ハイドパークコーナーから国会議事堂まで。スピーチが先に。キャロライン・ルーカス、私、ジェレミー・コービン。キャロラインのスピーチを後から聞きましたが、素晴らしい。<https://www.youtube.com/watch?v=dBHGikTWw68&feature=youtu.be> 難しいことに、スピーチ等を記録するための公的立場の人が、このデモ行進からオーガナイズされていませんでした。ソーシャル・メディアはどうかしら。本当に多くの団体がマーチに参加しています。Avaaz やフレンド・オヴ・ディ・アースがメインの NGO 団体でした。シンシアは何ヶ月もの間彼らと共に働き、素晴らしい団体だと思っています。

行進の始まりです。たくさんの若いギャング達が、私たちこそが人民なのだ、私たちが世界を支配するのだという意味を表す王冠を被りました。行進しながら色々な人と話すのは素晴らしいのです。特に若い人達や友人達にも会えますし。

終わりの方ではさらなるスピーチが。全てが本当にレベルの高いものでした。ラップの詩人マイク・ライテウスや後にケイト・テンペストを聴きながら。アンドレアスはケイトのことをシェークスピアみたいだ、最高だ！と言いました。友人のギャリーがかつて私に言ったことを思い出しました。彼は亡くなったのですが、「世界は知識人の孤立に苦しんでいる。」と。私は突然それを理解しました。このマーチに来た全ての人達が知識人なのです。翌日クライメイト・レヴオリューションのサイトに次のことを載せました。

政治家は人々を大切にするという責任を放棄してきた。彼らは自分たちが一体何をしているのか分かっていない。
私たちは自分たちがすべきことを知っている。
このマーチに参加した7万人の全ての人達は知識人なのだ。どのスピーチも素晴らしかった。これは最上位のドラマだ。詩人ラッパーのマイク・ライテウスは最高のコンディションで、ケイト・テンペストは並外れた才能の持ち主だ。私はそこにいたのだ！

知識人達の集まり！

私たちは既に、専門学校や大学の学生のアクティヴィスト達の核を形作るため、共同で働き始めています。これは私たちが築き上げるべき運動であり、邪悪な犯罪者である政治家達を威圧することになる運動なのです。

12月

12月の日記は書かないでしょう。仕事とクリスマス以外、圧倒された事実は COP21 でした。私は COP21 の代わりとなるものに参加し、そこではたくさんの方が起きました。1000以上の NGO 団体が集まり、ヨーロッパの半数の人達は何が起きているのかを理解しています。（知識人達です）他の地

域の割合については分かりません。ソーシャル・メディアは知力を与えるのに極めて重要です。

シンシアは COP21 の計画を示した物を[簡条書き](#)で掲載しました。それは死を映し出したようなものです。科学者や NGO 団体は私たちの生活のために裕福な国の政府達と戦っているのです。

グリーン経済こそが成長可能な経済です。

私たちの NGO、クライメイト・レヴォリューションは、気候変動はより良い物、美しい世界を選ぶことを私たちに強いることだと意味しています。この世界はなくなるでしょう。手遅れになる前に、新しい物に変換しなければならないのです。